

子どもたちに自然体験の面白さを伝えようと、あす17日午前9時から、横手市大森町の「柔葺き民家スマサ」周辺の山林で外遊びを楽しむイベント「森のなかたんけん」が開かれる。大曲高3年の鈴木結奈さん（仙北市角館町）が国際教養大の学生らの協力を得て企画。県内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集している。参加無料。

幼い頃から自然の中で遊ぶ体験が好きという鈴木さん。「落ち葉など周囲の自然を生かした遊びをよく考えていた。誰も手をつけていない自然から、自分の手で遊び道具や方法をつくっていくのが楽しかった」と

山林で外遊び 楽しもう!!

大曲高・鈴木さん企画

イベントのポスターを手にする鈴木さん



横手市 大森町 あす催し、参加児童募集



イベントは正午まで。予約フォーム（QRコード左上）で申し込む。
イベントは認定NPO法人あききたスギツチファンズの助成金を活用している。
問い合わせのメールアドレスはambitions81@cloud.com
(針金友理子)

スマートフォンやゲームに夢中にいる子どもが増え、子どもたちが自然に触れる機会が少なくなっている

状況に「何かできないか」と考えている時、高校生の取り組みを支援する国際教養大の学生団体「FROM PROJECT 秋田」の存在を

知り、活動メンバーの募集に応募。今年6月ころから、団体に所属する教養大生や、大仙市の若者相談窓口「だいせんLabo」に相談しながら、イベントの準備を始めてきた。17日は鈴木さんや教養大生と一緒に、自然の中に隠したお菓子を探し当てるゲームをしたり、たき火でマシュマロを焼いて食べたりする。雨天時は民家の中で遊ぶ。鈴木さんは「どうしたら子どもたちに興味を持てもらえるか、試行錯誤して遊びの内容や会場を考えた。イベントに来、自然の楽しさを体感してもらえたうれしい」と話す。